

# 幕末の見立絵 -三代豊国・広重・国芳

2013年 11月30日(土)～12月20日(金)

(12月2、9、16日は休館致します。)

太田記念美術館

階	絵師名	画題	年代
1階	宮川一笑	やつし菊慈童図 紙本一幅	享保～安永(1716～81)頃
	川又常正	美人観瀑図 紙本一幅	享保～延享(1716～48)頃
	松野親信	草子洗小町 絹本一幅	宝永～享保(1704～36)頃
	山本藤信	やつし股野石投げ 紙本一幅	宝暦～明和(1751～72)頃
	宮川派	やつし面壁図 紙本一幅	享保～延享(1716～48)頃
	三代歌川豊国	東海道五十三次之内 宮 景清	嘉永5年(1852)5月
	三代歌川豊国	東海道五十三次ノ内 岡崎駅 其二 政右衛門女房お谷	嘉永5年(1852)8月
	三代歌川豊国	東海道五十三次の内 岡崎駅 政右衛門	嘉永5年(1852)5月
	三代歌川豊国	東海道五十三次ノ内 箱根駅 其二 下部軍助	嘉永5年(1852)9月
	三代歌川豊国	東海道五十三次の内 箱根 初花	嘉永5年(1852)3月
	三代歌川豊国	東海道五十三次の内 藤枝 相模	嘉永5年(1852)8月
	三代歌川豊国	東海道五十三次之内 藤枝 熊谷直実	嘉永5年(1852)5月
	三代歌川豊国	東海道五十三次ノ内 藤枝 源義経	嘉永5年(1852)10月
	三代歌川豊国	東海道五十三次の内 府中 喜多八	嘉永5年(1852)3月
	三代歌川豊国	東海道五十三次之内 江尻 弥次郎兵衛	嘉永5年(1852)3月
	三代歌川豊国	東海道五十三次之内 吉原 小なみ	嘉永5年(1852)6月
	三代歌川豊国	東海道五十三次の内 吉原 となせ	嘉永5年(1852)3月
	三代歌川豊国	東海道五十三次の内 浜松 毛剃九右衛門	嘉永5年(1852)3月
	三代歌川豊国	東海道五十三次の内 見附 しづか	嘉永5年(1852)3月
	三代歌川豊国	東海道五十三次の内 袋井 忠信	嘉永5年(1852)5月
	三代歌川豊国	東海道五十三次之内 桑名 徳蔵	嘉永5年(1852)3月
	三代歌川豊国	東海道五十三次之内 大津 又平	嘉永5年(1852)5月
	三代歌川豊国	東海道五十三次之内 大津 又平女房おとく	嘉永5年(1852)8月
	歌川国芳	木曾街道六十九次之内 望月 怪童丸	嘉永5年(1852)6月
	歌川国芳	東海道五十三対 桑名 船のり徳蔵の伝	弘化2～3年(1845～46)頃
	歌川国芳	東海道五十三対 石薬師 義経逆桜	弘化2～3年(1845～46)頃
	三代歌川豊国	江戸名所百人美女 京ばし	安政5年(1858)2月
	三代歌川豊国	江戸名所百人美女 芝神明前	安政4年(1857)11月
	三代歌川豊国	江戸名所百人美女 湯島天神	安政4年(1857)11月
	三代歌川豊国	江戸名所百人美女 猿若町	安政4年(1857)11月
三代歌川豊国	江戸名所百人美女 かやば町	安政4年(1857)11月	
2階	三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 藤沢	嘉永7年(1854)7月
	三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 はら	嘉永7年(1854)8月
	三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 吉原	嘉永7年(1854)8月
	三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 江尻	嘉永7年(1854)8月
	三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 日坂	安政元年(1854)12月
	三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 二川	安政2年(1855)4月
	三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 赤坂	安政2年(1855)4月

三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 岡崎	安政2年(1855)4月
三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 宮	安政2年(1855)8月
三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 桑名	安政2年(1855)8月
三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 草津	安政2年(1855)8月
三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 大津	安政2年(1855)8月
三代歌川豊国	見立三十六句撰 石川五右衛門	安政4年(1857)12月
三代歌川豊国	見立三十六句選 しつか 狐忠信	安政4年(1857)正月
三代歌川豊国	見立三十六句撰 与右衛門 女房かさね	安政4年(1857)正月
三代歌川豊国	見立三十六句撰 団七九郎兵衛	安政4年(1857)12月
三代歌川豊国	見立三十六句撰 新中納言 とも盛	安政3年(1856)11月
三代歌川豊国	見立三十六句選 八百屋於七	安政3年(1856)11月
三代歌川豊国	見立三十六句選 あげまき すけろく	安政3年(1856)11月
三代歌川豊国	見立三十六句撰 ふ破伴左エ門 名古や山三	安政3年(1856)11月
三代歌川豊国	見立三十六句撰 天竺徳兵衛	安政4年(1857)12月
三代歌川豊国	見立三十六句撰 法戒坊 甚蔵女房お梅	安政4年(1857)正月
三代歌川豊国	見立三十六句選 立場の太平次 小物の孫七	安政3年(1856)12月
三代歌川豊国	見立三十六句選 三浦の高尾 左金吾頼兼	安政3年(1856)11月
三代歌川豊国	見立三十六句撰 おやま人形 左甚五郎	安政3年(1856)11月
三代歌川豊国	小倉擬百人一首 前大僧正 慈円 大伴黒主 小町桜	弘化3年(1846)頃
歌川国芳	小倉擬百人一首 大納言公任 雪姫	弘化3年(1846)頃
三代歌川豊国	小倉擬百人一首 周防内侍 白井権八	弘化3年(1846)頃
三代歌川豊国	小倉擬百人一首 藤原道信朝臣 太平次 およね	弘化3年(1846)頃
歌川国芳	小倉擬百人一首 左京大夫 顕輔 梅の由兵衛 源兵衛堀源兵衛	弘化3年(1846)頃
歌川広重	小倉擬百人一首 前大僧正行尊 久我之助	弘化3年(1846)頃
歌川国芳	小倉擬百人一首 相模 おきく 京極内匠	弘化3年(1846)頃
歌川国貞(三代歌川豊国)	当世見立七小町 あらひ	天保後期(1837~44)頃
歌川国貞(三代歌川豊国)	当世見立七小町 かよひ	天保後期(1837~44)頃
三代歌川豊国	当世七小町 見立かよひ	安政4年(1857)6月
三代歌川豊国	当世七小町 見立あふむ	安政4年(1857)6月
三代歌川豊国	当世七小町 見立冊子洗	安政4年(1857)6月
三代歌川豊国・歌川広重	東都高名会席尽 甲州屋 武田かつ頼	嘉永5年(1852)12月
三代歌川豊国	忠臣蔵 九段目 其三	嘉永5年(1852)10月
三代歌川豊国	忠臣蔵 九段目 其二	嘉永5年(1852)10月
三代歌川豊国	忠臣蔵 九段目 其一	嘉永5年(1852)10月
三代歌川豊国	見立十二ヶ月ノ内 五月 矢根五良 六月 天王祭	安政6年(1859)11月
三代歌川豊国	見立十二ヶ月ノ内 十一月 顔見世 十二月 伊左エ門	安政6年(1859)11月
三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 金谷	安政元年(1854)12月
三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 御油	安政2年(1855)4月
三代歌川豊国・歌川広重	双筆五十三次 亀山	安政4年(1857)4月
三代歌川豊国	見立三十六句撰 吃又平 女房おとく	安政3年(1856)12月
三代歌川豊国	見立三十六句撰 むれかミ はなれごま	安政3年(1856)11月
三代歌川豊国	見立三十六句選 すまのミつうち	安政3年(1856)12月
歌川広重	小倉擬百人一首 藤原基俊 梅川 亀屋忠兵衛 孫右エ門	弘化3年(1846)頃
歌川広重	小倉擬百人一首 源兼昌 熊谷次郎直実	弘化3年(1846)頃
三代歌川豊国	小倉擬百人一首 西行法師 弁慶 静御前	弘化3年(1846)頃
歌川広重	江戸むらさき名所源氏 見立あかし	天保14~弘化3年(1843~46)頃
歌川広重	江戸むらさき名所源氏 見立浮ふね 隅田川の渡	天保14~弘化3年(1843~46)頃
琴樹園二喜	月並狂歌大相撲 西湖楼連	天保頃(1830~44)頃